

イベントインフォメーション

開催日時等は変更となる場合があります。
必ず事前にホームページを御覧ください。

松戸歯学部 オープンキャンパス

■ 開催日時

10:00～15:00(予定)

6/6(日) 7/18(日)

8/15(日) 10/17(日)

■ 主なプログラム

- 学部概要説明
- 個別進学相談
- 模擬講義
- 施設見学
- う蝕治療体験
- 在校生相談
- 資料の配布・展示

松戸歯学部 キャンパスツアー

■ 開催日時

10:30～12:00(予定)

4/10(土) 5/8(土) 9/11(土)

11/6(土) 12/4(土)

2022年

1/29(土) 2/26(土)

■ 主なプログラム

- 学部概要説明
- 施設見学
- 質疑応答

※松戸歯学部のオープンキャンパス及びオープンツアーのお申し込みなどに関する詳しい情報はホームページを御覧ください。

附属歯科衛生専門学校 体験入学

■ 開催日時

10:00～12:00(予定)

5/30(日) 6/26(土) 7/4(日)

8/15(日) 10/17(日)

■ 主なプログラム

- 模擬実習
 - 施設見学
 - 進学説明・個別進学相談
- ※エントリーシート等を配布します。

※松戸歯学部附属歯科衛生専門学校の体験入学のお申し込みなどに関する詳しい情報はホームページを御覧ください。

アクセス&周辺マップ



- 松戸駅(JR常磐線快速・東京メトロ千代田線直通各駅停車・新京成電鉄)：
西口2番バス乗り場(京成バス)「日大歯科病院」行きバス終点下車
(バス約15分)
- 北松戸駅(JR常磐線各駅停車)から徒歩約20分
- 南流山駅(JR武蔵野線・つくばエクスプレス)：
南口バス乗り場(京成バス)「松戸駅」行きバス「日大歯科病院」下車
(バス約20分)もしくは「日大病院入口」下車(バス約15分、徒歩約5分)

日本大学松戸歯学部

大学院松戸歯学研究科/附属歯科衛生専門学校

日本大学松戸歯学部
<https://www.mascat.nihon-u.ac.jp>



〒271-8587 千葉県松戸市栄町西2-870-1
TEL 047-368-6111(代表) FAX 047-364-6295

日本大学松戸歯学部附属歯科衛生専門学校
<https://www.mascat.nihon-u.ac.jp/college>



日本大学松戸歯学部

大学院松戸歯学研究科/附属歯科衛生専門学校

GUIDE BOOK

2022

人を想い、ここで学ぶ。



人の一生を支える学問

歯の治療だけが、歯科医師の役割ではありません。

口から人の一生を支えること。

これが、わたしたちの志です。

食事をし、言葉をかわし、表情がうまれる。

人と人との関わり生きていくうえで、
口が担う役割の大きさを常に感じてきました。

「口腔の健康が全身の健康につながる」
この考えは、歯科医学を口腔科学として捉える
開学当初からの先駆的概念でもあります。

ときを重ねても多くの人が笑顔でいられるよう、
知識を深め、技術を磨き、真摯に向き合っていく。

松戸歯学部で見つけてほしいのは、
人の幸せを支える歯科医師の姿勢です。

50th

50年の絆、今あらたに
噛みしめて。

2021年、日本大学松戸歯学部は
創設50周年を迎えます。



Oral Science

松戸歯学部のエデュケーション

歯科医師は虫歯を治療するだけでなく、
口腔の健康を通じて全身の健康を支えるために、ますます重要となってきます。
松戸歯学部は歯科医学を「オーラルサイエンス(口腔科学)」と捉え、
医学の一分科としての教育を行っています。



学部長メッセージ

人間性豊かな、広く社会に貢献できる
歯科医師を育成します。

松戸歯学部は2021年に創設50周年を迎えます。1971年の開学以来、国民の歯科医療と歯科医学に貢献できる歯科医師を数多く輩出してきました。

松戸歯学部は、歯科医学を「オーラルサイエンス(口腔科学)」と捉え、医学の一分科としての教育を展開してきました。口腔の健康は全身の健康につながるという考えは、医科歯科連携、地域包括医療・ケアとよばれるシステムの先駆的概念です。松戸歯学部付属病院の施設および来院患者数は、国内有数規模であり、千葉県歯科医療の一翼を担っています。「一口腔一単位」を基本コンセプトとし、医師と連携できる知識と能力を有する歯科医師を育成するとともに、口腔の健康を通じて全身の健康を支える「口腔の専門医」として、患者心理を理解し、適切な説明と治療ができる歯科医師を育成することを目指しています。

日本は現在、超高齢社会を迎えています。高齢者の健康寿命延伸のためには、「口腔の健康維持」が極めて重要であり、それを支えるのが歯科医師です。歯科医師は、人間にとって生きるための「食」を支える重要器官に関わるスペシャリストにほかなりません。

日本大学松戸歯学部では、日本大学教育憲章に有る「自主創造」の「自ら学び、自ら考え、自ら道をひらく」を根幹とした教育を行っています。歯科医療と歯科医学を通して社会に貢献する、目的意識が高く、人間性豊かな歯科医師の育成をめざしています。



おがた よりまさ
小方 頼昌

日本大学松戸歯学部 学部長
日本大学教授(歯周治療学)

沿革

1971	<ul style="list-style-type: none"> ● 日本大学総長鈴木勝の構想により、日本大学松戸歯科大学開学 ● 初代学長 鈴木勝就任 ● 付属歯科病院開設 	1989	<ul style="list-style-type: none"> ● 日本大学創立100周年記念 松戸歯学部国際シンポジウム開催
1973	<ul style="list-style-type: none"> ● 体育館竣工 	1991	<ul style="list-style-type: none"> ● 創設20周年記念式典・祝賀会
1974	<ul style="list-style-type: none"> ● 附属歯科衛生専門学校開校 ● 口腔科学研究所設置 	1995	<ul style="list-style-type: none"> ● MASCAT(学内LAN)センター設置
1975	<ul style="list-style-type: none"> ● 学術雑誌「日大口腔科学」創刊 	1998	<ul style="list-style-type: none"> ● マルチメディア歯科教育システム導入 ● 松戸歯学部後援会発足
1976	<ul style="list-style-type: none"> ● 日本大学松戸歯学部と改称 ● 動物実験研究センター・アイソトープ研究センター竣工 	2001	<ul style="list-style-type: none"> ● 創設30周年記念式典・祝賀会
1977	<ul style="list-style-type: none"> ● 大学院松戸歯学研究科設置 	2006	<ul style="list-style-type: none"> ● 新病院棟竣工、日本大学松戸歯学部付属病院と改称
1982	<ul style="list-style-type: none"> ● 組換えDNA実験施設設置(第4共同研究室内) 	2011	<ul style="list-style-type: none"> ● 創設40周年記念式典・特別講演会
		2021	<ul style="list-style-type: none"> ● 創設50周年

日本大学教育憲章

日本大学は、本学の「目的及び使命」を理解し、本学の教育理念である「自主創造」を構成する「自ら学ぶ」、「自ら考える」及び「自ら道をひらく」能力を身につけ、「日本大学マインド」を有する者を育成する。

日本大学の理念(目的及び使命)

日本大学は、日本精神にもとづき、道統をたつとび、憲章にしたがい、自主創造の気風をやしない、文化の進展をはかり、世界の平和と人類の福祉とに寄与することを目的とする。

日本大学は、広く知識を世界にもとめて、深遠な学術を研究し、心身ともに健全な文化人を育成することを使命とする。

日本大学マインド

日本の特質を理解し伝える力

多様な価値を受容し、自己の立場・役割を認識する力

社会に貢献する姿勢

「自主創造」の3つの構成要素及びその能力

自ら学ぶ	<ul style="list-style-type: none">●豊かな知識・教養に基づく高い倫理観●世界の現状を理解し、説明する力
自ら考える	<ul style="list-style-type: none">●論理的・批判的思考力●問題発見・解決力
自ら道をひらく	<ul style="list-style-type: none">●挑戦力●コミュニケーション力●リーダーシップ・協働力●省察力

松戸歯学部教育方針

教育研究上の目的

理念	口腔の健康は全身の健康を支えるという考えを基盤とし、それを具現化した「オーラルサイエンス(口腔科学)」の学びを礎に、自主創造の能力を養い、豊かな知識と教養に基づく高い倫理観を持ち、論理的かつ批判的思考を用いた問題解決力と省察力を有し、歯科医療と歯科保健を通して生涯にわたり社会に貢献できる人材を育成する。
目標	口腔と全身の健康維持、増進に寄与するために、社会の多様なニーズに対応できる高い職業倫理を備え、あらゆる職種と協働し、地域医療と地域保健に貢献できる歯科医師を育成する。
研究指導の方針	教員の指導の下に、歯科医学の発展のために積極的に研究活動に参加し、その成果を国内外の学会へ公表することを通じて、研究力を高め、さらに国際人としてのグローバルセンスを養う。

3つのポリシー

ディプロマ・ポリシー (学位授与の方針)	松戸歯学部は、日本大学の教育理念である「自主創造」を構成する「自ら学ぶ」、「自ら考える」及び「自ら道をひらく」能力を身につけ、松戸歯学部の教育理念に基づいた各分野の授業科目をすべて修得し、8つの能力を修得するために設定された卒業要件を満たした者に学士(歯学)の学位を授与する。
カリキュラム・ポリシー (教育課程編成・実施の方針)	松戸歯学部(学士(歯学))では、日本大学教育憲章(以下、「憲章」という)を基に、学位授与の方針に沿って、教育課程の編成を実施する。 憲章に基づく学位授与の方針における8つの能力(コンピテンシー)を養成するための初年次教育、教養教育、専門教育等について、一般教養、医療行動科学、基礎歯科医学、社会歯科医学、臨床歯科医学、総合医学の各領域で構成される科目を横断的かつ体系的に位置付けて、総合歯科医学領域と臨床実習領域でそれらを統合する教育課程を編成する。また、講義、演習、実験、実習の授業形態を適切に組み合わせた科目を開設し実施する。 学修成果の評価については、各授業科目の専門的な知識・技能及び態度の能力の修得を適切に評価する多元的な評価方法により各授業科目のシラバスに明示される学修到達目標の達成度について判定し、憲章に沿った能力の修得については、卒業の達成を測るための授業科目等により総合的に行う。
アドミッション・ポリシー (入学者受入れの方針)	本学部の教育理念・目標に合致した人を選抜するために、基礎的学力、論理的思考力やコミュニケーション能力などに関する試験を実施し、医療人としての資質を総合的に評価し、知識・能力・意欲及び態度を有する者を受け入れる。

教育



3 松戸歯学部 の 特 長

point

1 付属病院と連携した 実践的な臨床実習

指導医、患者さん、医療スタッフと関わりながら診療に参加します。付属病院での実習を通じて、知識・技術だけでなく、柔軟なコミュニケーションスキルを身に付けることができます。実習の舞台となる付属病院は、歯科大学付属病院として電子カルテを国内初導入し、様々な最新検査機器を備え、複雑化・多様化する医療ニーズに対応したスキルを身に付け即戦力となる歯科医師を育成します。

全国でも来院患者数トップクラスの 付属病院

来院患者数年間25万人以上、1日約900人、年間入院患者数約5,000人と、全国の歯学部付属病院でもトップクラスの来院患者数を有しています。5年次からの臨床実習では、この多くの患者さんのご協力により豊富な臨床経験を積むことができます。歯科医師臨床研修では、歯科医師免許取得後の1年間を大学付属病院などで研修歯科医として過ごしますが、当病院では約80人の歯科医師臨床研修医の受け入れ体制を整えています。

患者さんを中心とした 医療環境

地上4階、地下1階の付属病院棟には、歯科治療用ユニット183台、ベッド数31床を備えています。パティオを中心に22診療科(歯科18科、医科4科)を機能的に配置し、患者さんを中心とした構造になっています。また、最新の歯科用CBCT、MRI、血管造影装置など、あらゆる角度からの確な診断を可能とする設備を有し、歯学部付属病院として国内初の電子カルテシステムを導入するなど充実した医療環境を整えています。

地域歯科医療の 中核を担う付属病院

日本大学松戸歯学部付属病院は、臨床実習の場であると同時に地域歯科医療の中核を担い、口腔の健康は全身の健康を支える「オーラルサイエンス(口腔科学)」の理念のもと、新たな歯科医療の分野に挑戦を続けています。そして複雑・多様化する医療ニーズに対応するために、最新の設備で大学付属病院として高度な医療に貢献する一方、地域に根ざした取り組みを積極的に行っています。

付属病院の診療科紹介

■診療部門

【歯科】

放射線科/臨床検査科/病理診断科/総合歯科診療科/歯科疾患予防管理科/口腔機能維持管理科/健康増進歯科/医療連携科/保存科/補綴科/歯周科/小児歯科/矯正歯科/特殊歯科/口腔外科/麻酔・全身管理科/口腔インプラント科/顎関節・咬合科

【医科】

内科/脳神経外科/頭頸部外科/耳鼻咽喉科

■医療情報部門

情報管理科/医療情報システム管理科



point

2 「医療行動科学」で プロ意識を修得

教育理念である「対人関係能力や医療人としての人格を備えた全人的な歯科医師を育成」の観点から、1～4年次にわたり「医療行動科学1～4」を設置しています。患者さんの声に耳を傾け、その思いをくみ取って適切な説明・治療ができるよう、講義や実習を通して患者心理の理解を深め、プロフェッショナリズムを修得します。



point

3 教職員が一丸となった きめ細やかな学修支援

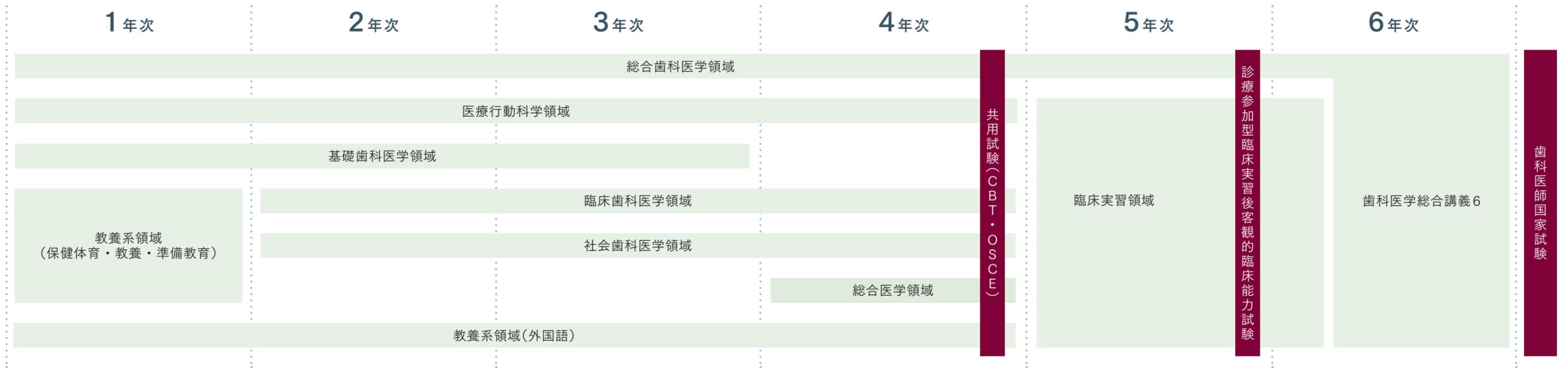
各学年に配置された学修サポート委員と学年担任が、学生や保証人との面談を定期的に行い、成績の状況に応じて学修方法や弱点補強のための工夫など適切なアドバイスを学生一人ひとりに行います。特に上級学年になると、5年生では臨床実習への対応、6年生では歯科医師国家試験のために、それぞれ10～12名程度の班に2～3名の教員を配置し、臨床実習へのアドバイスや歯科医師国家試験に向けての知識統合の助言など、きめ細やかな学修支援を行います。



6年間のカリキュラム

全人的な歯科医師を育成する教育システム

基礎歯科医学と基礎医学の「学問体系別講義」と、1つのテーマに様々な専門分野の教員がアプローチする「統合型講義」を連携させた総合的な教育体制を敷いています。また、各学年で段階的に知識や技術を修得できる「歯科医学総合講義」を設置し、一人ひとりの学修到達度を確認しながら効率的に学修を進めることができる独自の「歯科医学教育システム」を確立しています。



領域概要

教養系領域(保健体育・教養・外国語・準備教育)

歯科医師には専門知識・技術だけでなく、幅広い教養も必要という観点から、充実した教養科目群を設けました。日本大学全学共通教育科目「自主創造の基礎1・2」、「日本を考える」では、大学での学びやこれからの生き方において必要な日本大学教育憲章に示す基礎的素養を学生個々が身に付けることを主眼としています。また、実社会との関連から教養を学ぶ意義への理解や自身の専門分野を学ぶ意識を高め、以後受講する科目等の成果の充実に寄与するものとなります。準備教育科目の「物理学」、「生命科学」、「数学」においては、基礎歯科医学との関連性を重視した学修指導を行っています。保健体育科目では、歯科医師として心と身体の健康を管理できる能力を育成し、身体機能の維持・増進に加え、社会性の体得と自律した確かな人間性を高めていきます。

総合歯科医学領域

複数の異なる専門分野の教員が1つのテーマにアプローチする統合型講義を展開し、各学年で修得すべき知識・技術を確認しながら、全人的な歯科医師を育成することを目的としています。



基礎歯科医学領域

歯科医師になるためには、人体の構造とその詳細、人体の各部分の機能を十分に理解する必要があります。さらに、病気の原因や治療に用いる薬の作用なども十分に理解しておく必要があります。このような医学にとって基本的な知識は基礎医学とよばれており、専門的には解剖学、組織・発生学、生理学、生化学、薬理学、微生物・免疫学、病理学などの分野に分かれています。そこでこれらの学科目を系統的に学修し、生体の構造や機能について幅広い医学知識や実際の歯科治療の知識・技術修得へ向けての基礎知識を身に付けます。

臨床歯科医学領域・社会歯科医学領域

人体についての医学的知識をもとに、歯科治療はどうあるべきかという理論と具体的な治療法について学びを深めます。歯の硬組織や周辺組織に関する疾患や、その欠損と障害、口腔顎顔面領域の軟組織や硬組織に発生する疾患や障害、発育、成長過程に発生する疾患や障害、また高齢者に特有の疾患や障害とその治療法を学び、多様な歯科医療対応を修得します。また、歯科医療の社会における役割と公衆衛生への関与を学び、科学論文の理解に必要な医療統計学の基礎を学修します。さらに講義と実習を組み合わせることで、臨床実習にあたっての、医学・歯科医学の知識と歯科医療の実践との双方を併せ持つ能力を身に付けます。

医療行動科学領域

歯科医師としてのプロフェッショナリズムを修得するための知識・技能を1年次から4年次まで一貫して学修します。授業は統合型講義で行われ、知識の修得だけではなく、学内外での体験学修を含め、社会から求められる医療人としての資質・人格を段階的に形成していきます。

臨床実習領域

担当医の指導を受けながら、1年間をかけて医療現場の実務を修得します。患者さんと接することで、技術だけにとどまらず、歯科医師としての態度、職業意識を身に付けます。

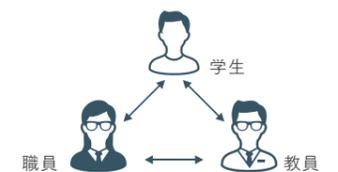


総合医学領域

臨床実習前に、内科学・外科学などを主体にした医学分野を横断的かつ複合的に学び、「オーラルサイエンス(口腔科学)」を実践するための知識・技術を統合型講義にて身に付けます。

PICK UP 学生教育の質を高める「教育・学修総合センター」

松戸歯学部では「教育・学修総合センター」を設置し、学生・教員・職員が三位一体となり、学修を支援する教育システムを構築しています。収集した成績等のデータに基づいて作成した教材を学生に提供し、苦手分野の克服を目指しています。また、全ての試験成績に基づいて分析したデータを学生にフィードバックすることで、学びを確実に進められるきめ細やかなサポートを行っています。



共用試験(CBT・OSCE)とは

「共用試験」は、実際に患者さんと接する際に必要な知識・態度・技能を身に付けているかを判断する試験で、臨床実習前の学修のまとめとして実施されます。コンピュータを用いて知識・問題解決能力を評価するCBTと、態度・診察技能を評価する客観的臨床能力試験OSCEがあり、この試験に合格すると5年次に進級し、臨床実習に進むことができます。

診療参加型臨床実習後客観的臨床能力試験とは

診療参加型臨床実習後客観的臨床能力試験は、臨床実地試験と一斉技能試験から成り、臨床実習を通して総合的な臨床能力が身に付いているかを判断する試験です。

幅広い教養の知識と 基礎的な歯科医学を総合的・複合的に学ぶ



MESSAGE

はしもと りゅうのすけ
橋本 琉ノ介さん

■ 松戸歯学部の学びについて

1年次では、一般教養がメインだったため高校の延長のような部分がありましたが、2年次になると歯科医師になるための専門的な授業が始まります。例えば、微生物・免疫学は、口腔内の細菌が私たちの身体にどのような影響を及ぼすのか、体がそれに対してどのような応答を起こすのかなど、歯科医師として必須の知識について学ぶものです。さらに3年次からは

実習が増え、技術がより要求されるようになります。勉強量も今までより増えるので予習復習に力が入ります。勉強に疲れた時は緑も多くリフレッシュしやすい環境でのびのびと過ごせるのも松戸歯学部の魅力です。将来は患者さん一人ひとりに信頼され、地域の医療を支える歯科医師になりたいと考えています。

■ 2年次後学期の時間割

	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri
1	歯科医学総合講義2	薬理学1	歯科医学総合講義2	生理学	衛生・公衆衛生学
2	医療行動科学2	歯科材料学1	英語2	生理学	微生物・免疫学
3	解剖学	解剖学	組織・発生学	歯科材料学1	微生物・免疫学
4	解剖学	解剖学	組織・発生学	歯科材料学1	

学びの特色

自主創造の基礎1・2

日本大学では、学生一人ひとりが「自主性」と「創造性」に根ざした「将来目標を設定する意識付け」「学ぶ目的の意識付け」ができるような「自主創造型パーソン」の育成を目指し、全学共通初年次教育科目として設置されています。そのために1年次では「自主性」を涵養し、「創造性」への導入を目指した「自主創造の基礎(初年次教育科目)」を展開しています。松戸歯学部で求められる学修技法や将来の良き社会人に繋がる学修のあり方について学びます。

栄養学

健康と栄養の密接な関係について、歯科領域から、食育(さまざまな経験を通じて「食」に関する知識と「食」を選択する力を修得し、健全な食生活を実践することができる人間を育てること)に対するアプローチを探索し、学びを深めます。



医療行動科学

[1・2年次]
授業は統合型講義で行われ、知識の修得だけでなく、学内外での体験学修を含め、社会から求められる医療人としての資質・人格を段階的に形成していきます。

[3年次：患者－医療関係学／医療人間学]
患者さんと医療者のあるべき関係について深く考え、附属病院における「患者付添実習」を通して自らが取るべき行動指針について学修します。

[4年次：医療面接・歯科臨床診断学／医療コミュニケーション学]
医療面接を通して、医療情報を収集し、最適な医療を行うために必要な診断までのプロセスや患者さんと良好な信頼関係を築くための医療コミュニケーションについて学修します。

障害者歯科学

「障害者歯科学」の専門講座を開設している本学部では、障がいを持った患者さんの歯科医療にも力を入れています。摂食嚥下(えんげ)機能障害を有する患者さんの全身疾患への理解を深めるとともに、社会歯科学的背景を理解し課題解決のための知識・技術を修得します。



MESSAGE

さいぐさ ただし
教授 三枝 禎

[薬理学]

日本大学のネットワークを生かし 歯科だけでなく他科で用いるクスリも幅広く学修。

薬理学は2年次後学期から3年次前学期で1年間にわたり学修します。歯科に来院する患者さんは、内科などで授業を受けていることが少なくありません。このため、薬理学では歯科だけでなく他科の治療で用いる薬物の作用の特徴に関して幅広く学び、安全・有効で快適な治療を実践できる歯科医師と

なるための基礎を身に付けます。この科目では日本大学のネットワークを生かし、薬学部の先生方の授業も開講。高血圧症や糖尿病など身近な病気の薬物治療の理解が深まるばかりでなく、漢方医学・漢方薬についても知ることができます。



全国トップクラスの来院患者数を誇る 付属病院での臨床実習



MESSAGE

まつもと りさ
松本 理沙さん

■ 松戸歯学部の学びについて

5, 6年次になると、知識をインプットする授業から、臨床においてより実践的なアプローチを学び、考える授業に変わります。現在学んでいる口腔外科・麻酔学では異変や異常を察知する力を養え、実際に血圧測定や脈拍測定、相互実習における局所麻酔など、学んだ知識をすぐに実践できるような科目なのでとてもやりがいがあります。臨床の観点から勉強を進めていくと、

見るべきポイントや先生に質問する内容が洗練されていき、自分でも成長しているのが実感できるので学んでいてとても楽しく感じます。松戸歯学部は、勉強をしていく中で疑問があれば先生にいつでも質問しやすい環境、体験型の学習が整っているのです。つまり、つまずくことなく歯科医師を目指すことができると感じています。

■ 5年次前学期の時間割

	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri
8:40～9:40	歯科医療の展開				
10:00～12:00	臨床実習				
13:30～16:00	臨床実習				
16:30～17:00	病院内清掃				

学びの特色

診療参加型臨床実習(SD診療)

付属病院を受診する患者さんの治療に参加し、歯科医療の実践力を培います。指導医によるマンツーマン形式で行われますが、患者さんの初診時医療面接と応急処置に始まり、診査・検査・情報収集と分析、総合的治療計画の立案、患者さんへの説明まで学生が行います。さらに、指導医の指示を仰ぎながら実際に患者さんの治療を担当し、実体験を通して患者さんとの良好な関係構築のためのコミュニケーション能力と診察技能を高めます。



歯科医学総合講義6

診断・治療・予防までの一貫した診療を実践できる歯科医師を目指して講義を行い、歯科医師国家試験の合格に向けて6年次までに履修した知識・技術を集約します。

課題別臨床実習

6年次に実施され、各診療科で参加型臨床実習を行いながら、新5年生に基本的臨床能力を指導することで自身の知識・技能・態度を見直し、より専門的な知識・技能・態度を統合的に修得します。



PICK UP

学修スペースについて

松戸歯学部では学修支援の一環として学修スペースの充実を図っています。図書館の他に、学生セミナー室も完備。さらに、学生同士が知識を深めながらグループ学修ができるよう午後5時以降は学生食堂を学修スペースとして開放しています。学内では多くの学生がこれらの学修スペースを利用し、毎日の講義・実習の復習や試験に向けて勉学に励んでいます。



MESSAGE

専任講師 えんどう まみ
遠藤 真美

[障害者歯科学]

一人ひとりの笑顔を守り、支援するのも、歯科医療の大切な使命です。

1976年に我が国で初めて松戸歯学部開設された障害者歯科学講座。付属病院では、特殊歯科として0歳から100歳を超える障害児者、要介護者の方に対して外来診療と訪問診療を行っています。診療内容は、障害や病気に対して専門的な配慮や環境整備をしながらの歯科治療、摂食嚥下リハビリテーションなどを通して口の働き(口腔機能)に関する健康支援を行っています。生まれてから最期まで“好きなものを食べる”、

“笑顔で過ごす”といった口腔機能の支援は、ご本人とご家族・介護者の思う“その方らしい生き方”を叶える生活支援といえます。つまり、歯科医療者は生活と医療をつなぐ大切な架け橋となる存在なのです。講義や実習では、知識の学修に加え、患者さんやご家族が望む生活の実現に向けて、何が出来るかを教員と学生で意見を交わし、歯科医療者としてのプロフェッショナリズムを高めることを目標にしています。





診療参加型臨床実習を実践する SD(Student Dentist)診療室

松戸歯学部では、5年次の臨床実習においてSD診療室を開設しています。附属病院で実践的に診療マネジメントを行い、SDとしての自覚を持って、治療技術やコミュニケーション能力と知識の向上を図っています。

SD診療とは？

学生が、指導医とともに患者さんのマネジメントを行う“診療参加型”の臨床実習です。



地域歯科医療の中核を担う附属病院で 優れた臨床能力と人格を身に付ける

松戸歯学部の学生が臨床実習を行う場は、最新の歯科用CBCT、MRI、血管造影装置など診療機器や国内初の電子カルテを導入した日本大学松戸歯学部附属病院です。同病院は地域における歯科医療の中核的な役割を担っている上、厚生労働省から歯周病関連の高度先進医療機関として認定を受けています。全国歯学部附属病院の中でもトップクラスの来院者数の附属病院での実習を通して専門知識や技術のみならず、患者さんに対する思いやりや奉仕の精神をしっかりと身に付け、即戦力となる優れた臨床能力と人格を備えた歯科医師の育成を目指します。



脳と口腔の機能に着目した 医療の実践

脳神経外科など医師が在籍していることにより、脳血管疾患などによる要介護状態の患者さんなどに対して、口腔と脳の2つの領域からのアプローチすることが可能です。ことに、「口・顔・頭の痛み外来」は首から上の全ての痛みに対応しており、同一の施設内で医師と歯科医師による協働した診療を可能としています。5年次からは医師や歯科医師、患者さんから数多くのことを学ぶとともに、常に新しい医療技術を学ぶ貴重な環境を整備しています。



一口腔単位の 診療マネジメントの実践

SD診療では、学生が患者さんのチーム医療の一員となり、診療の開始から終了までの中心的な役割を果たします。指導医の下、初診の患者さんの医療面接の実施、口腔機能の回復をトータルで考える一口腔単位の治療計画立案、必要な検査の実施、治療の実施と介助、予約マネジメント、症例報告を行います。患者さんと信頼関係を築きながら、総合的な歯科臨床能力を身に付けます。



海外留学から国家試験合格まで万全のサポート体制

海外留学制度

ケンブリッジ大学ペンブルック・カレッジ(サマースクール)

日本大学はケンブリッジ大学ペンブルック・カレッジで25年以上の長期にわたりサマースクールを実施しています。日本大学と共同出資で建設した学寮があり、研修期間中は、寮に滞在しながら、カレッジ生活を体験します。夏季休業期間を利用した3週間(1日約5時間の授業)の集中プログラムです。また、ケンブリッジ大学の学生が専属プログラムアシスタントとしてサポートします。

エリザベスタウン・カレッジ

英語運用能力のレベルアップを目指す授業が展開され、期間中はエリザベスタウン・カレッジ内の寮に滞在します。米国の生活・文化を体験するため、ニューヨーク、ワシントンD.C.といった大都市へのフィールドトリップも企画される予定です。

日本大学大学院海外派遣奨学生

大学院学生を海外に派遣することにより、研究者の育成及び国際交流の進展を図り、本学の発展に資することを目的としています。

歯科医師国家試験サポート

歯科医学総合講義5

5年次後学期に行われる「歯科医学総合講義5」は、臨床実習の前に毎朝行われる講義です。臨床実習で遭遇する症例の問題解決力を養い、国家試験に対応できる知識を修得します。

歯科医学総合講義6

6年次に行われる「歯科医学総合講義6」は、6年間の歯学部教育を総括するまとめ講義です。総合試験は歯科医師国家試験を徹底的に分析し、問題数や合格基準を国家試験水準としています。

国家試験対策委員会・学修サポート委員会

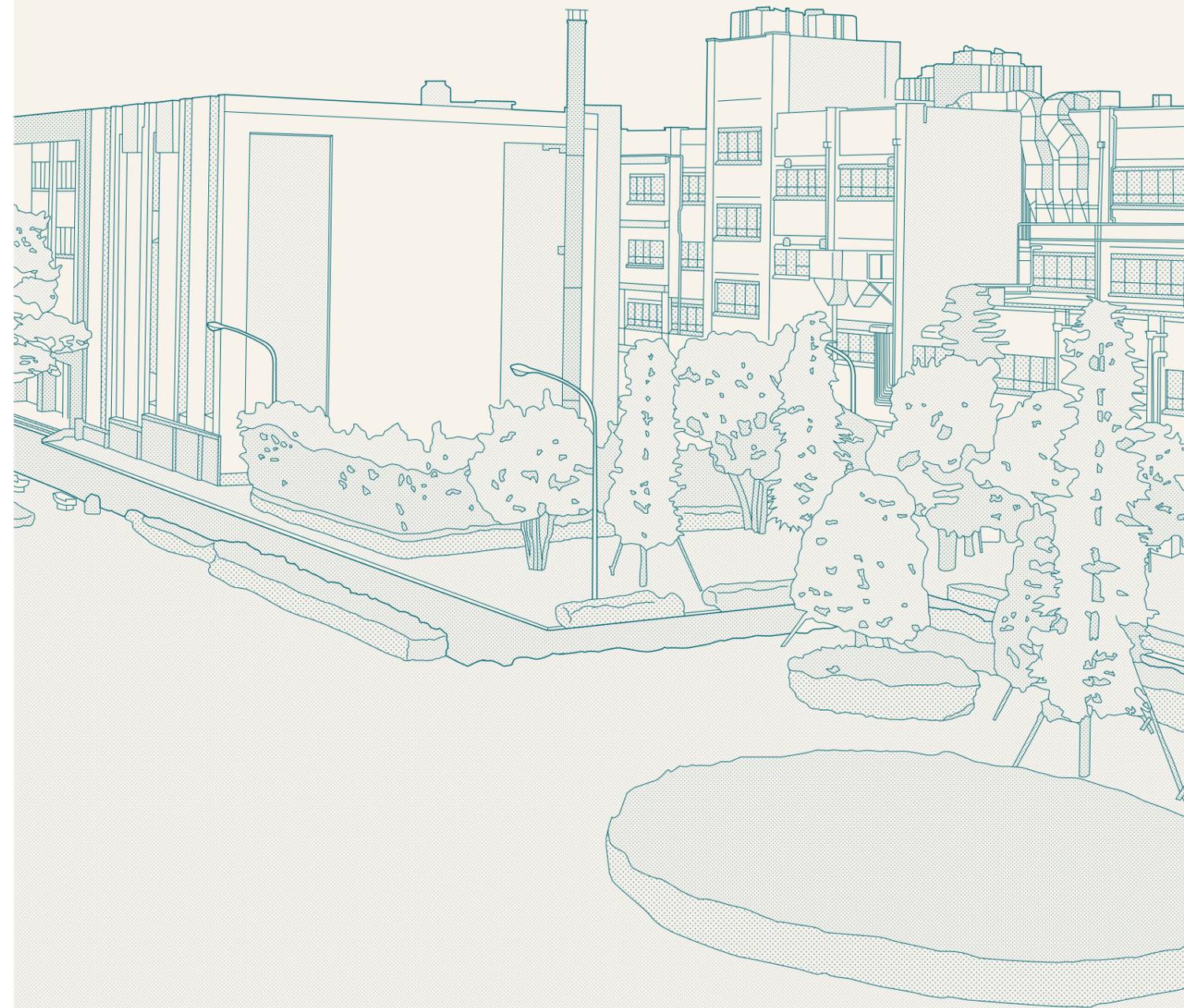
各講座に1人以上の国家試験対策委員会・学修サポート委員会の教員がおり、適切な勉強方法の相談など、いつでも質問ができる体制を整えています。1~6年次教育主任・国家試験対策委員・学修サポート委員を中心に、面談方針を定め2者面談・3者面談を実施し学修支援をしています。

歯科医師国家試験合格率(新卒者)

第110回 (2016年度)	第111回 (2017年度)	第112回 (2018年度)	第113回 (2019年度)	第114回 (2020年度)
79.3%	59.8%	77.5%	80.5%	81.8%



キャンパスライフ



Campus Map

キャンパスマップ

都心近郊ながらも、開放感のある広大な敷地。
ゆとりある学びを実現するキャンパス。

松戸歯学部は、都心からほど近い松戸市西部に位置しています。

広々としたキャンパス内にはグラウンドや体育館はもちろん、ゆとりある大教室も完備。

都心近郊ならではの、のびのびと安心して過ごせるキャンパスライフを実現します。

1 グラウンド

26,000㎡の広さを持ち、夜間照明を完備しています。クラブ活動及び体育実技など幅広く利用され、また、松戸市の避難場所兼収容避難場所として指定されています。



クラブハウス

弓道場

1 グラウンド

6 学生食堂

7 体育館

新校舎
予定地

保健室・学生支援室 9

動物棟

ゴルフ練習場 8

売店

5 校舎棟

中庭

歯学史資料室 3

図書館 4

教育実習棟・管理研究棟

コンビニ

2 付属病院棟

歯科以外にも内科・耳鼻咽喉科などの医科の診療科があります。5年次からの臨床実習は、この病院において実施します。



3 歯学史資料室



歯学史関係資料を中心に、古文書、古医書など、医歯薬の歴史を語る上で重要な資料が展示されています。

4 図書館



歯学・医学の専門書等約128,000冊の資料を所蔵。その他契約中の電子ジャーナルも閲覧できます。

5 校舎棟



4つの大教室(階段教室)に加え実習室があり、教育活動の主な施設を収容する施設となっています。

6 学生食堂



学生や教職員、研修医など学内関係者が自由に利用でき、クラブのミーティングや学修する場としても利用されています。

7 体育館



バスケットボールコート2面を確保でき、冷暖房設備があります。その他に各種道場、トレーニングルーム及びシャワー室を備えています。

8 ゴルフ練習場



ゴルフ部員だけでなく、学内関係者であれば利用できるゴルフ練習場です。一度に8人まで利用可能です。

9 保健室・学生支援室



保健室には看護師が常駐し、学生の病気やけがなどの応急処置をしています。また学生支援室ではあらゆる相談事に応じます。

TOPIC

2024年新校舎竣工予定



創設50周年記念事業として、2022年より松戸歯学部の中核を担う新校舎の建設工事に着手します。2024年4月からの使用開始を予定しています。現在の教育実習棟・管理研究棟および校舎棟に代わり、教育・研究・管理の場としての機能をキャンパス中央に集約。付属病院などの既存施設との繋がりにも配慮した新校舎として生まれ変わります。

学生寮「バンデリアン松戸」

2014年3月に設置され、松戸歯学部への通学にも便利な場所に位置している男子学生寮です。詳細は、日本大学ホームページを御覧いただくか、下記にお問い合わせください。

お問い合わせ先：日本大学学生部
TEL 0120-130-515 (月～金 10:00～16:00)



Event Schedule

年間スケジュール



- | | | |
|---|---|---|
| <p>4</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 日本大学入学式/学部開講式 ● 登院式・戴衣式(5年次) ● ガイダンス ● 新入生オリエンテーション ● 附属歯科衛生専門学校入学式 ● 大学院開講式 ● 実験動物慰霊祭 ● 学外研修(5年次) | <p>8</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 全日本歯科学生総合体育大会(歯学体：夏期部門) ● 夏季休業 ● オープンキャンパス(学部) ● 体験入学(附属歯科衛生専門学校) | <p>12</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 全日本歯科学生総合体育大会(歯学体：冬期部門) ● 冬季休業 |
| <p>5</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 定期健康診断 ● 後援会総会 ● 松戸歯学部創設記念日(5/20) ● 消防・防災訓練 ● 体験入学(附属歯科衛生専門学校) | <p>9</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 口腔科学会学術大会・総会 ● 後学期授業開始 | <p>1</p> |
| <p>6</p> <ul style="list-style-type: none"> ● リーダースキャンプ ● オープンキャンパス(学部) ● 体験入学(附属歯科衛生専門学校) | <p>10</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 日本大学創立記念日(10/4) ● 松戸祭 ● 市民大学講座 ● オープンキャンパス(学部) ● 体験入学(附属歯科衛生専門学校) ● 解剖体追悼法要 | <p>2</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 歯科医師国家試験 ● 共用試験 CBT, OSCE(4年次) ● 診療参加型臨床実習後客観的臨床能力試験 |
| <p>7</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 特待生・各種奨学生証書等授与式 ● オープンキャンパス(学部) ● 体験入学(附属歯科衛生専門学校) ● 夏季休業 | <p>11</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 消防・防災訓練 | <p>3</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 歯科衛生士国家試験 ● 日本大学卒業式/学位記伝達式 ● 附属歯科衛生専門学校卒業式 ● 進級発表 ● 歯科医師国家試験合格発表 ● 歯科衛生士国家試験合格発表 |



※各種行事は、変更・中止となる場合があります。

Club Activity

クラブ活動

本学部のモットーは文武両道。国家試験合格を目指すかたわら、多くの学生が同じ趣味や目的を持つ仲間と、クラブ活動にも精力的に汗を流しています。本学部には夜間照明付きグラウンド、体育館、テニスコートやゴルフ練習場等が完備されており、サポート体制は万全です。このクラブ活動で得た学年を超えた「仲間」との絆は、在学中はもちろんのこと、卒業してからも生涯の友として貴重な財産となります。



- | | | |
|---|--|--|
| <p>体育クラブ</p> <ul style="list-style-type: none"> 合気道部 アメリカンフットボール部 空手道部 弓道部 剣道部 硬式野球部 硬式庭球部 ゴルフ部 サーフィン部 サッカー部 | <p>山岳部</p> <ul style="list-style-type: none"> 少林寺拳法部 準硬式野球部 柔道部 スキー部 水泳部 ソフトテニス部 軟式野球部 日本拳法部 バドミントン部 | <p>バレーボール部</p> <ul style="list-style-type: none"> バスケットボール部 フットサル部 ボクシング部 洋弓部 ヨット部 ラグビーフットボール部 陸上競技部 |
| <p>文化クラブ</p> <ul style="list-style-type: none"> 国際保健部 軽音楽部 コーラス部 写真部 コースホステルクラブ アナログレコード研究部 | <p>ダンス部</p> <ul style="list-style-type: none"> アニマル・サイエンス部 自動車部 モーターサイクル部 天文部 | <p>同好会</p> <ul style="list-style-type: none"> MDEC 同好会 社会交流同好会 釣り同好会 戦史研究会 e-Sports 同好会 映像制作同好会 |



■ 一般選抜 N 全学統一方式・A 個別方式

	N 全学統一方式【第 1 期】 (日本大学が実施する入試)	N 全学統一方式【第 2 期】 (日本大学が実施する入試)	A 個別方式【第 1 期】 (松戸歯学部が実施する入試)	A 個別方式【第 2 期】 (松戸歯学部が実施する入試)
募集人員	8名	2名	45名	10名
出願期間	令和 4 年 1 月 5 日(水)～ 1 月 21 日(金) インターネット出願, 郵送	令和 4 年 1 月 5 日(水)～ 2 月 24 日(木) インターネット出願, 郵送	令和 4 年 1 月 5 日(水)～ 1 月 24 日(月) インターネット出願, 郵送	令和 4 年 1 月 5 日(水)～ 2 月 15 日(火) インターネット出願, 郵送
試験日	令和 4 年 2 月 1 日(火)	令和 4 年 3 月 4 日(金)	令和 4 年 2 月 4 日(金)	令和 4 年 2 月 25 日(金)
合格発表*1	令和 4 年 2 月 10 日(木)	令和 4 年 3 月 12 日(土)	令和 4 年 2 月 10 日(木)	令和 4 年 3 月 3 日(木)
入学手続締切日	令和 4 年 2 月 18 日(金)	令和 4 年 3 月 18 日(金)	令和 4 年 2 月 18 日(金)	令和 4 年 3 月 18 日(金)
二段階最終入学手続日	令和 4 年 3 月 11 日(金)	—	令和 4 年 3 月 11 日(金)	—
出願資格・出願書類	「一般選抜募集要項」に記載のとおり。			
入学検定料	「一般選抜募集要項」に記載のとおり。			
選考方法	①学力検査 【外国語】 「コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ」(60分/100点満点) 【数学・理科】 「数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B(確率分布と統計的な推測を除く)」、「物理基礎・物理」、「化学基礎・化学」、「生物基礎・生物」のうちから1科目選択。上記選択科目を指定科目数以上受験した場合は、高得点の科目を合否判定に使用する。ただし医学部を併願している、「理科」を合否判定に使用する場合は、第1解答科目のみを合否判定に使用する。(60分/100点満点) ②書類審査 調査書の「全体の学習成績の状況」、「出席状況」に基づく。 上記の結果を基に、総合的に選考する。 ※学力検査の成績の評価点が同点の場合、書類審査の評価点が高い者を優先とする。	①学力検査 【外国語】 「コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ」(60分/100点満点) 【数学・理科】 「数学Ⅰ・数学Ⅱ」、「物理基礎・物理」、「化学基礎・化学」、「生物基礎・生物」のうちから1科目選択。(60分/100点満点) ②書類審査 調査書の「全体の学習成績の状況」、「出席状況」に基づく。 ③小論文 [500字～600字](60分/50点満点) ④面接 (50点満点) 上記の結果を基に、総合的に選考する。ただし、③・④には、各々最低基準を設け、基準に達しない場合は、総合得点が合格最低点を超過していても不合格とする。 ※総合得点が同点の場合、学力検査の評価点の高い者を優先とし、更に同点であった場合は面接の評価点、また、更に同点であった場合は書類審査の評価点が高い者を優先とする。 ※学力検査の解答方式は記述式。		

* 1. 午後 1 時にインターネットによる合否案内。

■ 一般選抜 C 共通テスト利用方式(大学入学共通テストを利用した試験) ※個別学力検査等は実施しません。

	【第 1 期】	【第 2 期】	
募集人員	3名	2名	
出願期間	令和 4 年 1 月 5 日(水)～1 月 15 日(土) インターネット出願, 郵送	令和 4 年 1 月 5 日(水)～2 月 18 日(金) インターネット出願, 郵送	
試験日	大学入学共通テスト 令和 4 年 1 月 15 日(土)・16 日(日)		
合格発表*1	令和 4 年 2 月 17 日(木)	令和 4 年 3 月 3 日(木)	
入学手続締切日	令和 4 年 2 月 25 日(金)	令和 4 年 3 月 18 日(金)	
二段階最終入学手続日	令和 4 年 3 月 11 日(金)	—	
出願資格・出願書類	「一般選抜募集要項」に記載のとおり。		
入学検定料	「一般選抜募集要項」に記載のとおり。		
試験科目	【国語】 「国語(近代以降の文章)」(100点満点) 【理科】 「物理」、「化学」、「生物」のうちから1科目選択。(100点満点) 【外国語】 「英語」(100点満点) 【書類審査】 調査書の「全体の学習成績の状況」、「出席状況」に基づく。 ※上記選択科目を指定科目数以上受験した場合は、第1解答科目を合否判定に使用。 ※【外国語】「英語」においては、リスニングの成績は利用しない。 ※【国語】においては、近代以降の文章のみ利用。 ※大学入学共通テストの配点を上記の配点に換算し、合否判定する。 ※大学入学共通テストの成績の評価点が同点の場合、書類審査の評価点が高い者を優先とする。	【数学】 「数学Ⅰ」、「数学Ⅰ・数学A」のうちから1科目選択。「数学Ⅱ」、「数学Ⅱ・数学B」のうちから1科目選択。(各50点, 100点満点) 【理科】 「物理」、「化学」、「生物」のうちから1科目選択。(100点満点) 【外国語】 「英語」(100点満点) 【書類審査】 調査書の「全体の学習成績の状況」、「出席状況」に基づく。 ※上記選択科目を指定科目数以上受験した場合は、第1解答科目を合否判定に使用。 ※【外国語】「英語」においては、リスニングの成績は利用しない。 ※大学入学共通テストの配点を上記の配点に換算し、合否判定する。 ※大学入学共通テストの成績の評価点が同点の場合、書類審査の評価点が高い者を優先とする。	

* 1. 午後 1 時にインターネットによる合否案内。

■ 総合型選抜

	【第 1 期】	【第 2 期】
募集人員	18名	4名
エントリー期間	令和 3 年 7 月 1 日(木)～8 月 31 日(火) 郵送・窓口*1	令和 3 年 10 月 1 日(金)～11 月 30 日(火) 郵送・窓口*1
エントリー書類	エントリーシート	
出願期間	令和 3 年 9 月 1 日(水)～9 月 30 日(木) インターネット出願*2	令和 3 年 12 月 1 日(水)～12 月 22 日(水) インターネット出願*2
選考日	令和 3 年 10 月 23 日(土)	令和 4 年 1 月 22 日(土)
合格発表*3	令和 3 年 11 月 1 日(月)	令和 4 年 1 月 28 日(金)
入学手続締切日	令和 3 年 11 月 8 日(月)	令和 4 年 2 月 4 日(金)
出願書類	①出願確認票 ②出願資格を証明する書類(高等学校, 中等教育学校の卒業(見込)者, 高等専門学校第 3 年次, 在外教育施設の当該課程の修了(見込)者は出身学校の調査書)	
入学検定料*4	「募集要項」に記載のとおり。	
出願資格	次のいずれかに該当する者。 ● 高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び令和 4 年 3 月卒業見込みの者。 ● 通常の課程による 12 年の学校教育を修了した者(高等専門学校第 3 年次修了者等)及び令和 4 年 3 月修了見込みの者。 ● 高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び令和 4 年 3 月 31 日までにこれに該当する見込みの者。 外国の学校, 在外教育施設, 専修学校の高等課程, 高等学校卒業程度認定試験 等。	
出願要件	次の要件を全て満たす者。 ① 本学部を第一志望とし, 合格した場合には必ず入学することを確約できる者。 ② エントリー出願後に, オープンキャンパス(7 月 18 日(日), 8 月 15 日(日))又はオンライン等で面接を受け, アドミッション・ポリシー及び教育内容等を理解した上で, 出願ができる者。	次の要件を全て満たす者。 ① 本学部を第一志望とし, 合格した場合には必ず入学することを確約できる者。 ② エントリー出願後に, オープンキャンパス(10 月 17 日(日))又はオンライン等で面接を受け, アドミッション・ポリシー及び教育内容等を理解した上で, 出願ができる者。
選考方法	①学力検査(60分/100点満点) ※英語, 数学, 国語(高校を卒業するにあたっての基本的な知識レベル) ②小論文[500字～600字](60分/50点満点) ③面接(50点満点) 上記の結果を基に、総合的に選考する。ただし、②及び③には各々最低基準を設け、基準に達しない場合は、総合得点が合格最低点を超過していても不合格とする。 ※総合得点が同点の場合、学力検査の評価点の高い者を優先とし、更に同点であった場合は面接の評価点、また、更に同点であった場合は小論文の評価点が高い者を優先とする。	

* 1. 休日は郵送のみ。受付窓口は日本大学松戸歯学部教務課。* 2. ただし、出願書類を「松戸歯学部教務課」宛 郵送又は直接持参にて提出すること。* 休日は郵送のみ。

* 3. 午後 1 時にインターネットによる合否案内。* 4. エントリー出願時には入学検定料は不要。

■ 校友子女選抜

	【第 1 期】	【第 2 期】
募集人員	9名	3名
出願期間	令和 3 年 9 月 16 日(木)～9 月 30 日(木) 郵送・窓口*1	令和 3 年 12 月 14 日(火)～12 月 22 日(水) 郵送・窓口*1
試験日	令和 3 年 10 月 23 日(土)	令和 4 年 1 月 22 日(土)
合格発表*2	令和 3 年 11 月 1 日(月)	令和 4 年 1 月 28 日(金)
入学手続締切日	令和 3 年 11 月 8 日(月)	令和 4 年 2 月 4 日(金)
出願書類	①日本大学校友会発行の「校友子女確認書」 ②入学志願票 ③校友子女入学者選抜 出願理由書・経歴書(本学部所定用紙) ④出身学校の調査書等	
入学検定料	「募集要項」に記載のとおり。	
出願資格	日本大学校友会が発行した「校友子女確認書」を有し, 次のいずれかに該当し, 合格した場合, 本学部に入學することを確約できる者。 ● 高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び令和 4 年 3 月卒業見込みの者。 ● 通常の課程による 12 年の学校教育を修了した者及び令和 4 年 3 月修了見込みの者。 ● 高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び令和 4 年 3 月 31 日までにこれに該当する見込みの者。	
選考方法	①書類審査 調査書の「全体の学習成績の状況」、「出席状況」に基づく。 ②学力検査(60分/100点満点) ③小論文[500字～600字](60分/50点満点) ④面接(50点満点) 上記の結果を基に、総合的に選考する。ただし、③・④には、各々最低基準を設け、基準に達しない場合は、総合得点が合格最低点を超過していても不合格となる。 ※総合得点が同点の場合、学力検査の評価点の高い者を優先とし、更に同点であった場合は面接の評価点、また、更に同点であった場合は書類審査の評価点が高い者を優先とする。	

* 1. 休日は郵送のみ。受付窓口は日本大学松戸歯学部教務課。* 2. 本人へ発送。

■ 学校推薦型選抜

	指定校制	公募制
募集人員	3名	3名
出願期間	令和3年11月1日(月)～11月12日(金) インターネット出願、郵送・窓口*1	
試験日	令和3年11月20日(土)	
合格発表*2	令和3年12月1日(水)	
入学手続締切日	令和3年12月8日(水)	
出願書類	①出願確認票 ②出身学校の調査書 ③出身学校長の推薦書	
入学検定料	「募集要項」に記載のとおり。	
推薦基準及び出願資格	次の要件を全て満たす者で、学校長が責任をもって推薦する者。 ●本学部指定の高等学校又は中等教育学校を令和4年3月卒業見込みの者。 ●本学部で歯学の専攻を強く希望し、合格した場合、本学部に入学することを確約できる者。 ●調査書の「全体の学習成績の状況」が指定校別に定めた値以上の者。	次の要件を全て満たす者で、学校長が責任をもって推薦する者。 ●全日制高等学校又は中等教育学校(共に普通科・理数科、又は本学部がこれに準ずると認めた学科)を令和4年3月卒業見込みの者。 ●本学部で歯学の専攻を強く希望し、合格した場合、本学部に入学することを確約できる者。
選考方法	①書類審査 調査書の「全体の学習成績の状況」, 「出席状況」に基づく。 ②学力検査(60分/100点満点) ③小論文[500字～600字](60分/50点満点) ④面接(50点満点) 上記の結果を基に、総合的に選考する。ただし、③・④には、各々最低基準を設け、基準に達しない場合は、総合得点が合格最低点を超えていても不合格とする。 ※総合得点が同点の場合、学力検査の評価点の高い者を優先とし、更に同点であった場合は面接の評価点、また、更に同点であった場合は書類審査の評価点が高い者を優先とする。	

*1. 休日は郵送のみ。受付窓口は日本大学松戸歯学部教務課。

*2. 学校長へ発送。午後1時にインターネットによる合否案内。

■ 編入学試験

募集人員	若干名	出願期間	令和3年11月1日(月)～11月12日(金) 郵送・窓口*1
試験日	令和3年11月20日(土)	合格発表*2	令和3年12月1日(水)
入学手続締切日	令和3年12月8日(水)	入学検定料	「募集要項」に記載のとおり。
出願書類	①入学志願票 ②編入学試験出願理由書・経歴書(本学部所定用紙) ③大学の成績証明書(単位数記載のもの) ④大学の在学期間を証明する書類(在学証明書・卒業証明書・退学証明書等) ⑤出身高等学校等の調査書又は成績証明書		
出願資格	右のいずれかの要件を満たす者。 ●大学に1年以上在学し、35単位以上を修得した者。ただし、単位修得見込みの者を除く。 ●大学を平成29年3月から令和3年3月までに卒業した者及び令和4年3月卒業見込みの者。		
選考方法	①書類審査 調査書の「全体の学習成績の状況」, 「出席状況」に基づく。 ②学力検査(60分/100点満点) ③小論文[500字～600字](60分/50点満点) ④面接(50点満点) 上記の結果を基に、総合的に選考する。ただし、③・④には、各々最低基準を設け、基準に達しない場合は、総合得点が合格最低点を超えていても不合格とする。 ※総合得点が同点の場合、学力検査の評価点の高い者を優先とし、更に同点であった場合は面接の評価点、また、更に同点であった場合は書類審査の評価点が高い者を優先とする。		

*1. 休日は郵送のみ。受付窓口は日本大学松戸歯学部教務課。*2. 本人へ発送。

■ 学校推薦型選抜(付属高等学校等)

	基礎学力選抜	付属特別選抜
募集人員	16名	2名
出願方法	在籍する高等学校等の指示に従うこと。	
出願受付日	令和3年11月1日(月) [高校→本部]	
試験日	令和3年11月20日(土)	
合格発表*1	令和3年12月1日(水)	
入学手続締切日	令和3年12月8日(水)	
出願書類(本部より)	①入学志願票 ②出身学校の調査書	①入学志願票 ②出身学校の調査書 ③出身学校長の推薦書 ④志願理由書
入学検定料	「募集要項」に記載のとおり。	
推薦基準及び出願資格	●日本大学付属高等学校等基礎学力到達度テスト(理系)の標準化点の順位が全体の8割以上である者。	次の要件を全て満たす者で、学校長が責任をもって推薦する者。 ●日本大学付属高等学校等(文系・理系)を令和4年3月卒業見込みの者。 ●本学部で歯学の専攻を強く希望し、合格した場合、本学部に入学することを確約できる者。
選考方法	●面接(50点満点) 面接の結果には、最低基準を設け、基準に達しない場合は、不合格とする。	①書類審査 調査書の「全体の学習成績の状況」, 「出席状況」に基づく。 ②学力検査(60分/100点満点) ③小論文[500字～600字](60分/50点満点) ④面接(50点満点) 上記の結果を基に、総合的に選考する。ただし、③・④には、各々最低基準を設け、基準に達しない場合は、総合得点が合格最低点を超えていても不合格とする。 ※総合得点が同点の場合、学力検査の評価点の高い者を優先とし、更に同点であった場合は面接の評価点、また、更に同点であった場合は書類審査の評価点が高い者を優先とする。

*1. 学校長へ発送。

学費

■ 学費(令和3年度参考) ※諸会費除く

	【1年次】		【2年次】		【3～6年次】	
	前学期 (入学手続時納入金)	後学期	前学期	後学期	前学期	後学期
入学金	600,000円	—	—	—	—	—
授業料	1,750,000円	1,750,000円	1,750,000円	1,750,000円	1,750,000円	1,750,000円
施設設備資金	400,000円	400,000円	400,000円	400,000円	400,000円	400,000円
教育充実料	1,000,000円	1,000,000円	500,000円	500,000円	—	—
小計	3,750,000円	3,150,000円	2,650,000円	2,650,000円	2,150,000円	2,150,000円
学年合計	6,900,000円		5,300,000円		4,300,000円	
6年間合計	29,400,000円					

一般選抜時の成績優秀者は教育充実料200万円(初年度)を減免します。

各種奨学金制度の紹介

■ 学内の奨学金制度

本学部には充実した奨学金制度があります。学業成績・人物が優秀な学生や、経済的理由により修学が困難な学生に対し、さまざまな奨学金を給付・貸与しています。

奨学金名	対象	条件	金額	募集時期*1	種別
日本大学特待生	学部2年次生以上	学業成績・人物共に優秀な者(公募ではありません)。	甲種：授業料1年分相当額の半額及び図書費 乙種：授業料1年分相当額の半額	—	給付
松戸歯学部鈴木奨学金(第1種)	学部2～6年次生・大学院生	学業成績・人物ともに優れている者。	年額10万円	4～5月	
松戸歯学部鈴木奨学金(第2種)	学部・大学院生	経済的理由により学費の支弁が困難である学業成績・人物共に優秀な者。	年額24万円	5月	
松戸歯学部大竹奨学金		学業・人物ともに優れた者、もしくは、課外活動において顕著な成果を収め学部等の発展に貢献したと認められる者。	年額10万円		
日本大学古田奨学金	大学院生	学業成績・人物共に優秀な者。	年額20万円		
日本大学ロバート・F・ケネディ奨学金					
日本大学事業部奨学金	学部生	経済的理由により学費等の支弁が困難である学業成績・人物共に優秀な者。	募集時に公表	6月	
日本大学創立130周年記念奨学金(第2種)		経済的支援を必要とし、修学意志が堅固で学業成績及び人物が優良な者(外国人留学生を除く)。	年額30万円		

■ 学外の奨学金制度

奨学金名	対象	条件	金額	募集時期*1	種別
日本学生支援機構奨学金(第一種)*2 [無利子]	学部・大学院生	特に優れた学生で、経済的理由により著しく修学困難な者。	学部生：2・3・4・5万4千円の中から選択(自宅通学)。2・3・4・5・6万4千円の中から選択(自宅外通学)。大学院生：8万円もしくは12万2千円。	4月	貸与
日本学生支援機構奨学金(第二種)*2 [有利子]		第一種奨学金よりゆるやかな基準によって選考された者。	学部生：2・3・4・5・6・7・8・9・10・11・12・16万円から選択。/大学院生：5・8・10・13・15万円から選択。		
日本学生支援機構奨学金(給付型)*2	学部生	収入が一定額以下であること(学業成績・学修意欲等に関する要件も満たす必要がある)。 ※給付型奨学金の対象となれば授業料・入学金も免除又は減額。	世帯収入に応じた3段階の基準で支援額が決定。		随時
民間企業提携教育ローン	学部・大学院生	詳細は学生課までお問い合わせください。			
地方公共団体・各奨学財団奨学金		募集期間や内容はさまざまですので、詳細は学生課掲示板にて随時お知らせします。			

*1. 募集時期は目安です。正式な期限等については、学生課掲示板にてお知らせいたします。*2. 独立行政法人日本学生支援機構(JASSO)のホームページを御参照ください。 <http://www.jasso.go.jp>

Q 入学者選抜の選択科目によって有利不利はありますか？

A 問題作成の際に難易度などを調整し、不公平にならないよう配慮していますので、選択科目による有利不利はありません。自分の得意な科目でチャレンジすることが、より良い結果につながるでしょう。

入試情報について [p.23 ~ 25](#)

Q 入学手続きについて知りたいのですが。

A 合格後、入学手続き期間中に所定の納入金を納め、必要書類を提出いただくと入学が許可されます。なお、日本大学他学部または他大学を併願している場合は、一部の一般選抜(正規合格者)は入学手続きの延期が可能です。延期を希望する場合は、入学手続き期間中に入学申込金を納入し、所定の手続きを行うことで、大学指定の期日まで延期することが可能です。この入学申込金は、本学部へ入学される際に入学金として充当いたします。

入試情報について [p.23 ~ 25](#)

Q 国家試験について教えてください。

A 歯学部の学生にとっての最終目標ともいえるのが毎年実施される歯科医師国家試験の合格です。大学での講義、実習をマスターしていれば、十分に合格レベルに達することができます。

国家試験合格率について [p.17](#)

Q クラブと勉強の両立は可能ですか？

A 本学部では、多くの学生がクラブに所属しています。練習の頻度等はクラブによって異なりますが、どのクラブも学業優先を念頭に活動しています。クラブ活動を通じて、学年を越えた繋がりを持つことができ、勉強面においても協力し合うことのできる貴重な仲間となるでしょう。

クラブ活動について [p.22](#)

Q 試験会場の下見はできますか。

A 試験場へは入れませんが、事前に駅からの道順、所要時間をチェックし下見しておくことをお勧めします。なおオープンキャンパス、キャンパスツアーに参加していただければ、学内見学の際ご案内いたします。

オープンキャンパス、キャンパスツアーについて [パンフレット裏面](#)

Q 卒業後の進路は？

A 松戸歯学部の卒業生は6,029人。日本だけでなく、海外でも歯科医療の最先端で活躍しています。卒業後は1年の歯科医師臨床研修医期間を経て、歯科医師として病院に就職するほか個人開業医になるなど、さらには、より高いレベルの知識、技術を身につけるために大学院に進学、もしくは研究生への進路も用意されています。なお就職については、毎年就職希望者の約7倍近くの求人があります。

仕事の現場、世界で活躍する卒業生について [p.37 ~ 38](#)

Q 奨学金のことについて教えてください。

A 日本学生支援機構の奨学金をはじめ、本学部独自の奨学金や提携教育ローンなど、様々な制度を利用することができます。

奨学金について [p.26](#)

Q 松戸歯学部附属病院を学生は利用できますか？

A はい、できます。校友会に入会し、校友会準会員診療費助成申請書を学生課に提出すれば、支払った診療費が後日返金されますので、学生は実質無料で受診することができます。歯科関係の診療科はもちろんのこと、内科・耳鼻咽喉科などの医科の診療科もあります。

附属病院診療科について [p.8](#)

TOPIC 「新しい生活様式」への対応のために松戸歯学部がいま、取り組んでいること。

松戸歯学部では、学生一人ひとりが安心して授業や実習に取り組めるよう、右記のような新型コロナウイルス感染症予防対策を実施しています。

キャンパス入構時の検温・アルコール消毒の徹底

1m以上の間隔を保った対面式授業の実施

「日本大学健康観察システム」で学生の体調を管理・記録

オンライン授業の実施とパソコン・タブレット貸与

大学院



最先端の機器が充実した環境で 追究したい専門領域を深く掘り下げる



大学院 松戸歯学研究科の概要

日本大学大学院松戸歯学研究科は昭和52年に設置されました。現在、発育発達全身疾患学系、口腔病態制御学系、組織細胞再生学系、先端材料修復学系、口腔顎顔面再建学系、病態診断検査学系の6つの学系のもとに24の専攻学科目があります。大学院には科学する能力をもった臨床医を育てることと、未来の歯科医学を担う教育・研究指導者を育てる目的があり、様々な最先端の機器が充実した研究に最適な環境で、追究したい専門領域を深く掘り下げ、さらに専門性を高めることができます。



幅広い視野を養う海外交流が活発

大学院生や教職員を対象に、国内外の著名な研究者を招いた特別講義を年に約15回開催しています。また、大学院海外派遣奨学生制度では、年に1名以上、1年間の派遣期間で、海外の大学や研究所で専門分野の研究を深めることができます。

研究活動を支えるフォロー体制

国内の他大学院や研究所にて授業科目を履修し、研究指導を受けることも可能です。これら派遣先での研究成果や教育機関での履修実績も大学院の単位として認められます。また、国内外の学会で研究発表を行う場合の奨学金給付制度など、研究活動を支える基盤があります。

＜教育研究上の目的＞

教育研究理念

自主創造の能力を養い、高い倫理観と省察力を有し、豊かな専門知識と問題解決能力に基づく研究、教育、臨床を通して、生涯に渡り人類の福祉と健康に貢献する人材を育成する。

目標

人類の福祉と健康から社会へ貢献し続けるために歯科医学の専門知識を身につけ、多様な価値、自己の立場・役割、日本の文化を理解し、高い職業倫理と世界への発信力を備えた研究・教育者、科学する力を持った臨床家を育成する。

教育方針

- ディプロマ・ポリシー
- カリキュラム・ポリシー
- アドミッション・ポリシー



*詳細はこちらをご参照ください。

■ 専攻学科目一覧

発育発達全身疾患学系	小児歯科学	歯科矯正学
	障害者歯科学	歯科麻酔学
	医科病理学	
口腔病態制御学系	歯周治療学	生化学・分子生物学
	微生物学・免疫学	薬理学・歯科薬理学
	衛生学	
組織細胞再生学系	組織・発生学	生理学
	歯内療法学	
先端材料修復学系	歯科生体材料学	保存修復学
口腔顎顔面再建学系	有床義歯補綴学	歯冠架工義歯補綴学
	顎口腔機能治療学	解剖学
	顎顔面・口腔外科学	
病態診断検査学系	歯科臨床検査医学	放射線学
	口腔診断学	口腔病理学

大学院の先端設備

レーザーイオン化飛行時間型質量分析装置

AXIMA-CFRは、細胞や組織において発現しているすべてのタンパク質を、微量な検体から迅速かつ確実に網羅的に解析・同定する装置です。島津製作所の田中耕一氏が開発に成功しノーベル賞を受賞されたことで知られています。タンパク質をペプチドに消化後、レーザーをあてることでイオン化させ、検出器までに届く時間の差で多種のペプチドの質量を同時に検出し、もとのタンパク質を推定することができます。



近赤外線分光法(Near-infrared spectroscopy: NIRS)実験装置

脳機能の解析は口腔科学の重要な研究分野のひとつです。この実験装置はヒトの脳機能のイメージングに用いられており、脳の神経活動に伴う血流の変化を指標としています。生体への透過性が高い近赤外線を用いており、被験者への負担が少なく安全性が高い装置です。



GeneChip遺伝子解析装置

GeneChipは、1/2インチ平方あたり数十万種類に及ぶ遺伝子プローブをアレイ上で合成した、ほかに類を見ない高密度マイクロアレイです。ヒト、マウス、ラットを中心に多くの生物種の遺伝子配列の変異や遺伝子発現の変化を一度の実験で確認できます。



MESSAGE

ごみよう なつこ
五明 夏子さん

[大学院松戸歯学研究科2年次]

「追究し続ける歯科医師になりたい」
そんな思いを胸に大学院へ進学しました。

研究を通して身体の常態と病態を学び、科学的根拠のある情報を選択、論理的に考察を行うことで、診療における歯への病理的刺激の原因とその影響に関する知識、各種診断法を用いた的確な診断を下す能力、適切な治療法を選択する力を養うことができるのではと思います。大学院進学を決めました。現在は、むし歯等によって歯の神経(歯髄)が露出してしまった時などに炎症や壊死を

起こすことなく神経を保護する薬剤(覆髄材)を開発するための研究を行っています。また、松戸歯学部のカンパスはグラウンドや体育館、ゴルフ練習場などの運動施設が充実しているため、研究の合間に程よくリフレッシュできる環境が整っているのが嬉しいです。将来は大学院で学んだ知識や経験を生かしながら、歯内療法の臨床を追究していきたいと考えています。



■ 入学試験(一般・社会人入試)要項

		入学試験(第1期)	入学試験(第2期)
募集人員		10名(定員の範囲内で社会人含む)	20名(定員の範囲内で社会人含む)
出願期間		令和3年8月23日(月)～9月3日(金)	令和4年1月24日(月)～2月4日(金)
入学試験日		令和3年9月18日(土)	令和4年2月12日(土)
合格発表日		令和3年10月5日(火)	令和4年3月1日(火)
入学手続締切日		令和3年10月15日(金)	令和4年3月11日(金)
出願資格	共通	①大学における医学、歯学または修業年限6年の獣医学及び薬学を履修する課程を卒業した者または令和4年3月までに卒業見込の者。 ②外国において学校教育における18年の課程(最終の課程は医学、歯学、獣医学または薬学)を修了した者または令和4年3月までに修了見込の者。 ③外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における18年の課程(最終の課程は医学、歯学、獣医学または薬学)を修了した者または令和4年3月までに修了見込の者。 ④わが国において、外国の大学の課程(その修了者が当該外国における18年の課程(最終の課程は医学、歯学、獣医学または薬学)を修了したとされるものに限る)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者。 ⑤文部科学大臣の指定した者。 ⑥大学の医学を履修する課程、歯学を履修する課程、獣医学を履修する課程または薬学を履修する課程に4年以上在籍した者(これに準ずるものとして文部科学大臣が定める者を含む)であって、本大学の定める単位を優れた成績をもって修得したと認められた者。 ⑦本大学院において、個別の入学資格審査により、大学(医学、歯学、修業年限6年の獣医学及び薬学を履修する課程)を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、令和4年3月31日までに24歳に達する者。 ⑧その他、本研究科が特に認めた者。	
	社会人	官公庁、研究所、病院、歯科医院等にすでに勤務し、勤務成績が優秀であり、入学後もその職を有する者、または令和4年5月1日までに勤務予定の者。 歯科医師臨床研修医制度における臨床研修歯科医は含まない。	
備考	(1)出願資格②～⑦及び⑧で出願する者は、あらかじめ本学松戸歯学研究科(教務課)まで問い合わせること。 (2)専攻学科目によっては歯科医師国家試験の合格が必要条件となりますので、本学松戸歯学研究科(指導教授又は教務課)まで問い合わせること。 ※一定の要件を満たした場合に外国の学校教育における16年に満たない課程を修了したのに対し、大学院の入学資格を付与すること等を定めた学校教育法施行規則の一部を改正する省令(平成28年文部科学省令第19号)の施行に伴い、出願資格に変更が生じた場合は本学ホームページで公表いたします。		
出願書類	共通	①大学院入学志願票(本学所定の用紙) ②成績証明書 ③卒業証明書、または卒業見込証明書 ④研究計画書(関心をもつ分野、研究計画、将来の目標等を記載したもの)(本学所定の用紙) ⑤出願資格②～⑦及び⑧で志願する者は上記書類の他に次の書類を提出してください。 (1)経歴書(本学所定の用紙) (2)自己推薦書(本学所定の用紙) (3)その他本大学院で定める書類 ※なお、出願後に本大学院が必要と認めた場合は、健康診断書の提出を求める場合がある。	
	社会人	①経歴書(本学所定の用紙) ②勤務先の承諾書(本学所定の用紙) ③勤務先等の所属長の推薦書(任意様式)入学検定料	
入学検定料	40,000円		
選考方法	学力検査：専門科目(50分、100点満点) 面接試験：①一般面接(50点満点) ②専門面接(50点満点)	学力検査：専門科目(50分、100点満点) 面接試験：①一般面接(50点満点) ②専門面接(50点満点)	

学費

■ 学費(令和3年度参考)

	前学期		後学期
	入学時納入金(前学期分)		
	学内者	学外者	
入学金	—	200,000円	—
授業料	350,000円	350,000円	350,000円
施設設備資金	—	500,000円	—
校友会準会員会費	10,000円	10,000円	—
合計	360,000円	1,060,000円	350,000円

【2年目以降】

	前学期	後学期
授業料	350,000円	350,000円
校友会準会員会費	10,000円	—
合計	360,000円	350,000円

(備考)1 表中に記載の(学内者)は、日本大学出身者をいう。
 2 表中に納入金以外に、修了年度に正会員会費初年度分を1万円納入。

附属歯科衛生専門学校

豊富な実習で優れた歯科衛生士をめざす 本学独自の「歯科衛生士育成プログラム」



歯科衛生士とは？

歯科医師の指導のもとに、歯および口腔疾患の予防のために歯石除去や薬物塗布を行い、また、歯科診療の補助、介助をつとめます。そのほか、歯科保健指導や（口腔）衛生の啓蒙なども業務に含まれます。歯科衛生士になるには、歯科衛生士学校を卒業し、歯科衛生士試験に合格して、厚生労働大臣の免許を受けなければなりません。

歯科衛生士になるための3年間の学び

学部学生や教職員、多くの患者さんが行き交う付属病院に隣接した恵まれた環境で、充実した教育を受けられます。講義は松戸歯学部教授をはじめ、専門分野のエキスパートが担当し最新の知識を学ぶことができます。付属病院での臨床実習では、講義を受けた先生の治療を実際に見学することで講義と実習をうまく補完し合うことができ、歯科衛生士に必要な知識と技術を学びながら、医療従事者としての自覚と感性を磨きます。講義や実習のほか、学部学生と共に行うクラブ活動や学校行事などを通して、コミュニケーション能力を身に付けることもできます。



歯科衛生士育成プログラム

豊富な実習を通して、優れた歯科衛生士を育成するプログラムを用意しています。歯科分野の実習だけでなく、文章表現法や情報科学、手話、スポーツ健康管理学、食育、ペン習字といった選択科目もあり、コミュニケーション能力を併せもった歯科衛生士を目指します。新入生オリエンテーションでは、クラスメートとの意見交換や、特別養護老人ホームへ施設訪問し交流体験をします。また、早期臨床体験実習では、歯科衛生士の役割を学び、患者さんの気持ちを理解するための良い機会を得ることができます。

< 教育研究上の目的 >

教育理念

社会の要請に応える創造性と人間性豊かで自立する自主創造型歯科衛生士を養成しようとする精神

教育目的

口腔の健康は全身の健康を支えるという考えを基盤とした専門的知識や技術を修得し、自ら考え、自ら学び、自ら道を開拓し、社会貢献できる全人的な歯科衛生士を育成することを教育目的とする。

3つのポリシー

●ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）

本校の教育方針に基づき各分野の授業科目を全て履修し、所定の単位を修得するとともに、「自ら学ぶ」、「自ら考える」及び「自ら道をひらく」能力を身につけた自主創造型歯科衛生士としての能力・感性を兼ね備えた者に専門士（医療専門課程）の称号を授与する。

●カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成・実施の方針）

教育の理念に基づいて、口腔の健康は全身の健康を支えるという考えを基盤とし、医療人となるための専門的知識・基礎的技術を修得し、社会貢献のできる豊かな感性を身につけた全人的な歯科衛生士を育成するための教育課程を編成している。また、各授業科目の学修方法、学修過程、学修成果の評価の方法、評価基準をシラバスに明示し、学生に周知する。学修成果の評価に関しては、実施する授業形態に即し、適正かつ厳格な方法で実施する。

●アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）

松戸歯学部附属歯科衛生専門学校の教育理念・目標に合致した人を選抜するために、基礎的学力、論理的思考力やコミュニケーション能力などに関する試験を実施し、医療人としての資質を総合的に評価する。

*詳細はこちらを
ご参照ください。



履修概念図（領域別）

3年次	● 総合講義・演習、研究	● 歯科保健指導論	● 歯科診療補助論	● 歯科予防処置論
2年次	● 臨床実習・臨地実習			
1年次	● 臨床歯科医学	● 歯科衛生士概論		
	● 基礎歯科医学			
	● 基礎・教養			
	● 建学の精神・教育理念			



先輩からのメッセージ

歯学部附属ならではの よりリアルを感じられる学び

本校は国家試験合格率が非常に高く、他の専門学校にはない大学付属病院があり、医療現場が身近に感じられるメリットがあります。また、手話などの選択科目があるので、患者さんのケースに合わせて対応できる力も身に付けられます。さらに、先生との距離が近いのも魅力です。実際の現場で扱うスケーラーの持ち方や操作方法など、初めは難しく上手く扱えませんでした。先生の手厚い指導により入学当初と比べてとても上達しました。



2年次
えぐち ことこの
江口 瑚都乃さん

学生同士も先生も身近だから 安心して学べる3年間

キャンパスは施設・設備が充実しているので、学びの環境としては抜群です。大学付属なので食堂や購買などが使えます。臨床実習は、新型コロナウイルス感染症の影響で制限のある中でも、学校側や先生の工夫により無事最後まで履修できました。これも先生・生徒・学校スタッフが互いに身近だからこそ成せたことだと思います。クラスのみんな仲が良く切磋琢磨し合えるので、歯科衛生士を目指すにはとても魅力的な環境です。



3年次
すずき かなん
鈴木 香南さん

■ 一般選抜

	【第1期】	【第2期】
募集人員	5名(女子)	若干名(女子)
出願期間	令和3年11月22日(月)～12月3日(金) 郵送・窓口*1	令和4年2月1日(火)～2月10日(木) 郵送・窓口*1
試験日	令和3年12月11日(土)	令和4年2月19日(土)*2
合格発表*3	令和3年12月15日(水)	令和4年2月24日(木)
入学手続締切日	令和3年12月24日(金)	令和4年3月4日(金)
入学検定料*4	20,000円	
推薦基準・出願資格	<ul style="list-style-type: none"> ●高等学校または中等教育学校を卒業した者及び令和4年3月卒業見込みの者。 ●通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び令和4年3月修了見込みの者。 ●高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び令和4年3月31日までにこれに該当する見込みの者。 	
出願書類	①入学志願票(本校指定様式) ②出身学校の調査書	
選考方法	①書類審査 ②学力検査 ③小論文 ④面接 左記の結果を基に、総合的に選考する。	

*1 休日は郵送のみ。*2 令和3年12月24日(金)までに総募集人員(40名)を満たしている場合は、第2期試験は実施しない。*3 本人へ通知。*4 令和3年度参考。

■ 総合型選抜

	【第1期】	【第2期】
募集人員	25名(女子)	若干名(女子)
エントリー期間	令和3年6月7日(月)～7月9日(金) 郵送・窓口	—
エントリー審査	令和3年7月17日(土)	—
エントリー結果通知*1	令和3年7月20日(火)	—
出願期間	令和3年7月21日(水)～7月29日(木)	令和3年10月18日(月)～11月5日(金) 郵送・窓口
試験日	—	令和3年11月13日(土)
合格発表*1	令和3年8月5日(木)	令和3年11月17日(水)
入学手続締切日	令和3年8月24日(火)	令和3年12月1日(水)
入学検定料*2	20,000円	

①本校のアドミッション・ポリシーを理解し共感できる者。②本校が実施する体験入学に参加した者。③下記の④～⑥の一つに該当し、かつ本校を第一志望とし、合格後は入学を確約できる者。④高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び令和4年3月卒業見込みの者。⑤通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び令和4年3月修了見込みの者。⑥高等専門学校の3年次を修了した者及び令和4年3月修了見込みの者。⑦高等学校卒業程度認定試験(旧大検)に合格した者。⑧その他、本校が特にエントリー・出願を認めた者(不明な点は、エントリー・出願前にご相談願います)。

エントリー出願資格	①本校のアドミッション・ポリシーを理解し共感できる者。②本校が実施する体験入学に参加した者。③下記の④～⑥の一つに該当し、かつ本校を第一志望とし、合格後は入学を確約できる者。④高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び令和4年3月卒業見込みの者。⑤通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び令和4年3月修了見込みの者。⑥高等専門学校の3年次を修了した者及び令和4年3月修了見込みの者。⑦高等学校卒業程度認定試験(旧大検)に合格した者。⑧その他、本校が特にエントリー・出願を認めた者(不明な点は、エントリー・出願前にご相談願います)。 ①エントリーシート(体験入学時に配布) ②高等学校等調査書 <ul style="list-style-type: none"> ●在学中で調査書が提出できない場合は、2学年までの成績証明書を提出してください。その際、備考欄に2学年までの出欠状況を記入してください。 ●卒業後5年以上を経過し発行できない場合は、その旨を記した「証明書」を提出してください。 ●高等学校卒業程度認定試験(旧大検)に合格した者は、高等学校等の調査書・卒業証明書に代えて、「合格成績証明書」を提出してください。 ③最終学歴の卒業証明書及び成績証明書 <ul style="list-style-type: none"> ●新卒者は卒業後に提出。 ●その他本校が特に指定する場合があります。 ④エントリー審査料(郵便為替) ⑤その他募集要項に従う。	①自己推薦書(体験入学時に配布) ②入学志願票 ③高等学校等調査書 <ul style="list-style-type: none"> ●在学中で調査書が提出できない場合は、2学年までの成績証明書を提出してください。その際、備考欄に2学年までの出欠状況を記入してください。 ●卒業後5年以上を経過し発行できない場合は、その旨を記した「証明書」を提出してください。 ●高等学校卒業程度認定試験(旧大検)に合格した者は、高等学校等の調査書・卒業証明書に代えて、「合格成績証明書」を提出してください。 ④最終学歴の卒業証明書及び成績証明書 <ul style="list-style-type: none"> ●新卒者は卒業後に提出。 ●その他本校が特に指定する場合があります。 ⑤入学検定料(郵便為替) ⑥その他募集要項に従う。
エントリー出願書類	①エントリーシート(体験入学時に配布) ②高等学校等調査書 <ul style="list-style-type: none"> ●在学中で調査書が提出できない場合は、2学年までの成績証明書を提出してください。その際、備考欄に2学年までの出欠状況を記入してください。 ●卒業後5年以上を経過し発行できない場合は、その旨を記した「証明書」を提出してください。 ●高等学校卒業程度認定試験(旧大検)に合格した者は、高等学校等の調査書・卒業証明書に代えて、「合格成績証明書」を提出してください。 ③最終学歴の卒業証明書及び成績証明書 <ul style="list-style-type: none"> ●新卒者は卒業後に提出。 ●その他本校が特に指定する場合があります。 ④エントリー審査料(郵便為替) ⑤その他募集要項に従う。	①自己推薦書(体験入学時に配布) ②入学志願票 ③高等学校等調査書 <ul style="list-style-type: none"> ●在学中で調査書が提出できない場合は、2学年までの成績証明書を提出してください。その際、備考欄に2学年までの出欠状況を記入してください。 ●卒業後5年以上を経過し発行できない場合は、その旨を記した「証明書」を提出してください。 ●高等学校卒業程度認定試験(旧大検)に合格した者は、高等学校等の調査書・卒業証明書に代えて、「合格成績証明書」を提出してください。 ④最終学歴の卒業証明書及び成績証明書 <ul style="list-style-type: none"> ●新卒者は卒業後に提出。 ●その他本校が特に指定する場合があります。 ⑤入学検定料(郵便為替) ⑥その他募集要項に従う。
選考方法	エントリー審査：①小論文 ②面接	エントリー審査はありません。試験日に①小論文 ②面接を実施。

*1 本人へ通知(郵送)。*2 令和3年度参考。

■ 学校推薦型選抜

	指定校制	付属高等学校等	公募制【第1期】	公募制【第2期】
募集人員	5名(女子)	若干名(女子)	5名(女子)	若干名(女子)
出願期間	令和3年9月6日(月)～9月24日(金) 郵送・窓口*1		令和3年11月22日(月)～12月3日(金) 郵送・窓口*1	令和3年12月11日(土)
試験日	令和3年10月2日(土)		令和3年12月15日(水)	令和3年12月24日(金)
合格発表*2	令和3年10月7日(木)			
入学手続締切日	令和3年10月20日(水)			
入学検定料*3	20,000円			
推薦基準・出願資格	<ul style="list-style-type: none"> ●高等学校または中等教育学校を令和4年3月卒業見込みの者(日本大学付属高等学校等を除く)。 ●本校への入学を強く希望し、合格した場合、本校に入学することを確約できる者。 ●調査書の学習成績の状況が指定校別に定めた値以上の者。 ●上記の基準を満たす者で、学校長が責任をもって推薦する者。 	<ul style="list-style-type: none"> ●日本大学付属高等学校等を令和4年3月卒業見込みの者。 ●本校への入学を強く希望し、合格した場合、本校に入学することを確約できる者。 ●上記の基準を満たす者で、学校長が責任をもって推薦する者。 	<ul style="list-style-type: none"> ●高等学校または中等教育学校を令和3年3月に卒業した者又は令和4年3月卒業見込みの者(日本大学付属高等学校等は令和3年3月卒業者のみ可)。 ●本校への入学を強く希望し、合格した場合、本校に入学することを確約できる者。 ●上記の基準を満たす者で、学校長が責任をもって推薦する者。 	
出願書類	①入学志願票(本校指定様式) ②出身学校の調査書 ③出身学校長の推薦書(本校指定様式)			
選考方法	①書類審査 ②面接 左記の結果を基に、総合的に選考する。		①書類審査 ②小論文 ③面接 左記の結果を基に、総合的に選考する。	

*1 休日は郵送のみ。*2 学校長と本人へ通知。付属高等学校等の場合は学校長へ通知。*3 令和3年度参考。

■ 社会人選抜

	【第1期】	【第2期】
募集人員	若干名(女子)	
出願期間	令和3年11月22日(月)～12月3日(金) 郵送・窓口*1	令和4年2月1日(火)～2月10日(木) 郵送・窓口*1
試験日	令和3年12月11日(土)	令和4年2月19日(土)*2
合格発表*3	令和3年12月15日(水)	令和4年2月24日(木)
入学手続締切日	令和3年12月24日(金)	令和4年3月4日(金)
出願書類	①入学志願票(本校指定様式) ②出身学校の調査書 ③自己推薦書(本校指定様式)	
入学検定料*4	20,000円	
推薦基準・出願資格	<ul style="list-style-type: none"> ●高等学校または中等教育学校を卒業した者。 ●通常の課程による12年の学校教育を修了した者。 ●高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者。 上記いずれかに該当し、社会人経験があり、本校への入学を強く希望し、合格した場合、本校に入学することを確約できる者。 ※本校で社会人とは、「上記いずれかの学校教育を修了し、社会で活動、生活している人」と定義し、必ずしも職業従事の有無は問いません。	
選考方法	①学力検査 ②面接 左記の結果を基に、総合的に選考する。	

*1 休日は郵送のみ。*2 令和3年12月24日(金)までに総募集人員(40名)を満たしている場合は、第2期試験は実施しない。*3 本人へ通知。*4 令和3年度参考。

学費

■ 学費(令和3年度参考)

	【1学年】		【2学年】		【3学年】	
	前学期	後学期	前学期	後学期	前学期	後学期
入学金	250,000円	—	—	—	—	—
授業料	350,000円	350,000円	350,000円	350,000円	350,000円	350,000円
施設設備資金	50,000円	50,000円	50,000円	50,000円	50,000円	50,000円
小計	650,000円	400,000円	400,000円	400,000円	400,000円	400,000円
学年合計	1,050,000円		800,000円		800,000円	
3年間合計	2,650,000円					

* 前学期(4～9月)・後学期(10～3月)・入学金(入学時のみ)・授業料(毎年)・施設設備資金(3年間)

■ その他卒業時までの諸経費(令和3年度参考)

	【1学年】	【2学年】	【3学年】
教科書	76,718円	49,695円	8,244円
実習器材	185,450円	—	—
体育着	19,400円	—	—
学年合計	281,568円	49,695円	8,244円
3年間合計	339,507円		

各種奨学金制度の紹介

■ 学内の奨学金制度

奨学金名	対象	目的	金額	募集時期	種別
松戸歯学部鈴木奨学金	2・3学年	故鈴木勝博士が寄付した基金を運用して、学業成績・人物が優秀な者に対して給付する。	年額10万円	4月～5月	給付
松戸歯学部大竹奨学金	全学年	大竹繁雄博士が寄付した基金を主に運用して、学業成績・人物が優秀な者、または課外活動において顕著な成果を収め、学部等の発展に貢献したと認められる者、または奨学生選考委員会が適当と認める事情がある者に対して給付する。			

■ 学外の奨学金制度

奨学金名	対象	条件	金額	貸与期間	募集時期	種別
第一種奨学金[無利子]	全学年	経済的理由により修学に困難がある優れた学生等。	<ul style="list-style-type: none"> ●自宅通学者：5万3千円。 ●自宅外通学者：5万円もしくは6万円。 ●自宅・自宅外共通：2・3・4万円の中から選択。 	卒業までの最短修業年限。	4月初旬*1	貸与
第二種奨学金[有利子]						
日本学生支援機構奨学金(給付型)*2		収入が一定額以下であること(学業成績・学修意欲等に関する要件も満たす必要がある)。 ※給付型奨学金の対象となれば授業料・入学金も免除又は減額。	世帯収入に応じた3段階の基準で支援額が決定。	—	4月	給付
国の教育ローン		学費の支弁が困難な者。*3	350万円以内	—	随時	貸与

*1 学生課掲示板でお知らせします。*2 独立行政法人日本学生支援機構(JASSO)のホームページを御参照ください。 <http://www.jasso.go.jp>

*3 詳細は「国の教育ローン」でWeb検索してください。学生課にリーフレットを用意しています。

仕事の現場

6期生 今井 洋一

35期生 今井 浩之

いまい歯科医院

四国・愛媛、親子二代で歯科医院を営営

洋一さん 6期生の今井洋一です。現在は愛媛県の新居浜市内で、いまい歯科医院の院長をしております。もともと出身がここ愛媛だったこともあり、卒業後にUターンして開業しました。

浩之さん 35期生の今井浩之です。父・洋一の経営するいまい歯科医院に勤務しています。私も出身が愛媛であり、ずっと父の背中を見て育ってきたので、自然と故郷に戻ってきました。

洋一さん 当医院では、ご高齢の患者さんが多いという地域のニーズに合わせて、通常の外来での診療に加えて訪問診療も積極的に行っています。



地域医院ならではの「訪問診療」

洋一さん 当医院では、大体一日に5件から8件くらいの訪問診療を行っています。きっかけは13年ほど前に、通われていた患者さんが高齢で通院が困難になったので訪問してくれないかとの依頼からでした。それから徐々に訪問診療を希望される方も増え、初めは週一回程度でしたが今では毎日行っていますね。

浩之さん 私も今、父と一緒に、週に一度ほどではありますが訪問診療を行っています。父の元で勉強をさせてもらっていて、まさしく修行の身と言ったところで。

🕒 勤務スケジュール

9:00	13:30	14:30	19:00	19:40
出勤 診療準備	診療 外来を中心に 診療	お昼 休み	診療 14:30~16:30 訪問診療	カルテや 症例などの チェック
				退勤

外来と大きく異なる訪問診療、その難しさとメリット

洋一さん 外来の診療でも大切なことなのですが、特に訪問診療で重要なのが患者さんやご家族とのコミュニケーションです。お薬の選択や治療法について必ずご家族を交えて、綿密に相談しながら進めていく心がけています。

浩之さん 場所や扱える器具も限られていますので、そういった状況でもうまく診療できるよう立ち回りを工夫する難しさもあります。

洋一さん 反面、訪問診療のメリットも大きいです。例えば認知症を持つ患者さんの場合、対話が困難なケースがあります。そういう時にご家族の方と共に診療に向き合うことができれば、最善の治療を進めることが可能になります。

その結果、患者さんのご家族からも感謝され、改めて訪問治療のやりがいや可能性を感じますね。



地元愛媛から松戸歯学部への進学

洋一さん もともと父は獣医師で、自分も獣医師を志そうと思っていたのですが、高校時代にその父が急逝してしまいました。それを機に、人に関わる医学の道を進んで欲しいと願った母の想いと、日本大学歯学部出身で歯科医師である叔父の勧めで、松戸歯学部へ進学しました。

浩之さん 私も、幼い頃から両親が歯科医師という環境で育ち、父の働く姿を見てきて、高校くらいの頃から自然と歯科医師を志すようになっていました。松戸歯学部を選んだのも、卒業生である父から先生との距離の近さや暖かみのある学部の雰囲気など、多くの魅力を持っていたので何の迷いもない選択でした。

洋一さん 当時から、良い意味でアットホームな校風でしたね。勉強以外にも部活動にも精を出して、私は準硬式野球部を自分たちの代で立ち上げて、キャプテンを務めました。

浩之さん 実は私も野球部に所属していました。そう、かつて父の立ち上げた準硬式野球部です。そこで、父と同じくキャプテンも務め、チームメイトと共に、時には汗を流し、時には試験対策や情報の共有などをして切磋琢磨していました。



未来の松戸歯学部生たちへ

浩之さん 歯科医師に求められるニーズは今とても多様化しています。ニーズに応えるためにはある種の専門性が必要になってくると思います。そこで、在学時に自分の強みは何かを見つけて欲しいと思います。どんな歯科医師になりたいかを自分の中でイメージしながら勉学に励むと、自ずと後々に繋がっていきます。

洋一さん 歯科医師という仕事は、社会に貢献できる本当にやりがいの大きい職業です。私は患者さんやご家族に喜んでもらえて初めて、仕事として価値のあるものと考えています。希望の未来が待っていることを信じて、頑張ってください。

～いまい歯科医院の皆さん～



地域に根差した歯科医院であることを心掛け、コミュニケーションを大切にした診療で、スタッフ一丸、患者さんの笑顔を守り続けています。

世界で活躍する卒業生



横尾 聡

11期生

群馬大学大学院医学系研究科
口腔顎顔面外科学講座・
形成外科学講座 教授

医学の一分野としての 歯科医学を追求して

歯科医学は歯や歯茎だけではなく、口・顎・顔面・その隣接組織に現れる病気を学ぶ学問です。この領域の異常は、食事や会話が上手にできなくなるなどの機能障害や美容的な障害、すなわち人間として重要な「社会性」の喪失を来してしまいます。自然科学の急速な発展で変化した社会生活、思考、疾病構造などに調和したこれからの歯科医学は、歯学ではなく「医学の一分野としての歯科」という医療体系へ変化するべきと考えています。この考え方は、在学中に「口腔科学」を根底に置いた講義を受ける中で自然に培われました。私の専門は口腔外科学ですが、歯学の中の口腔外科という狭い捉え方ではなく、松戸歯学部で学ぶ皆さんには医学の中の歯科医学・口腔科学を根底に置き、広い視野で患者を診る事のできる歯科医師、口腔科医師になって欲しいと思います。



宮本 貴成

23期生

アメリカクレイトン大学 歯周病科
教授

世界で通用する歯科医師へ

私は1994年に日本大学櫻丘高校を卒業し、同年、日本大学松戸歯学部に入りました。その後ボストン大学大学院に進学し、現在はアメリカネブラスカ州のクレイトン大学で主任教授として学生教育や研究に携わっています。日本で歯科医師といえば「歯科医師過剰問題」など様々な問題がとり挙げられているようです。しかし世界に目を向けると、歯科医師という仕事は健康を追求し、多くの方々の生活のクオリティーを向上することができる、魅力的で社会から尊敬されている重要な職業のひとつと位置づけられています。在学中から感じていたのですが、松戸歯学部はグローバルな視点から非常にユニークな歯科医学教育を行っています。卒業後海外で活躍している卒業生も数多くいます。受験生の皆さんには歯科医師という職業をグローバルな視点から考えていただけたらと思います。



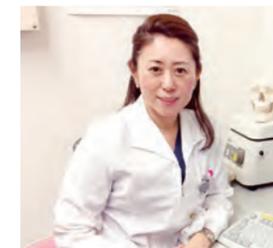
鵜澤 一弘

15期生

千葉大学大学院医学研究院
口腔科学講座教授

必要とされる次世代の 歯科医師に

川の源流が汚染されると、下流をいくらきれいにしてもその川は健全な河川とはなりません。口腔はまさに全身の源流であり、口腔健康の門番が紛れもなく歯科医師です。また、全身疾患の一症候が口腔に現れることも少なくなく、原疾患の第一発見者が歯科医師となることもあります。私は、松戸歯学部の「口腔と全身」に重きを置いた教育を受け、卒後は、千葉大学で口腔外科の道を歩んできました。米国ノースカロライナ大学に留学し、様々な組織・病変のコラーゲン研究を通して、基礎研究の視点からも歯科医学を見つめるようになりました。次代の歯科界を担えるのは、まさに全身や基礎研究に明るい歯科医師です。松戸歯学部には、伝統的にこうした人材を育成する活発な雰囲気と、それを推し進める経歴・経験の豊富な教員が揃っています。受験生の皆さんは、こうした社会のニーズに応えられる次世代の歯科医師を目指してもらいたいと思っています。



古賀 陽子 (旧姓 河瀬)

23期生

東京女子医科大学
歯科口腔外科学講座
口腔顎顔面外科学分野教授

自分流の道を切り拓ける 人生観を培う

「自立できる自分でありたい!」と希望に満ちて1993年の春に入学。教養から臨床まで一連の流れで学び、最新トピックスを盛り込んだ生きた講義は進路決定にも大いに役立ちました。私は口腔外科に興味を持ち、卒業後は東京大学医学部口腔外科で2年間研修。そして東京大学大学院に進学し、医学博士を取得後、米国コーネル大学医学部で研究員として3年半過ごし、帰国後は口腔外科医として手術と実験に明け暮れる充実した日々を過ごしています。常に前を向き何事も諦めずに取り組み姿勢は大学生活で培いました。グローバル社会に向けて学生主導型の教育を行う松戸歯学部は、世界に通用する学部だと確信しています。かけがえない友人を持ったことや、縦の繋がりが強いことも松戸歯学部だからこそ。受験生には夢に向かって大きな一歩を踏み出し、自分流の道を切り拓いて欲しいです。